

児童の様子(小学部4年男子)

- 興味の幅が狭い。活動の切り替えが難しい。見通しが持ちづらい場面で、気持ちが不安定。
- 言葉での表現が苦手。○色に興味がある。○絵はテーマを認識してなぐりがきで描き、描いた作品に意味づけ。
- はさみやテープを使用する際は教師の支援が必要。

本題材における「育成を目指す資質・能力」との関連

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	関心・意欲・態度
○充実した余暇を営むための基礎的な知識・技能 ○用具を活用する知識・技能	○感性や想像力を働かせながら、よさや美しさ、価値などを見だし、豊かな発想や表現ができる力	○豊かな感性や情操 ○生活の中に楽しさや喜びを見つけ、味わい、明るく楽しい生活を営もうとする態度

題材の計画



期	月	題材名
第1期	6月	運動会の思い出(1時間)
		うちわをつくろう～にじみ絵～(2時間)
		紙相撲を作ってあそぼう(2時間)
	9月	粘土でクッキング(2時間)
第2期	10月	好きな色で塗ろう(4時間)(研究授業)
		○△□で描こう(1時間)
	11月	ランプシェードをつくろう(4時間)

題材の目標

- ・物の形や色等に興味を持ち、表現することができる。
- ・材料や用具の使い方を知り、目的に応じて使うことができる。
- ・好きな物や見たこと、思ったこと、感じたことを自由に発想し、表現することができる。
- ・自分が表現したことを発表したり、友達作品を見たりして、作品のよさや美しさ、面白さに気づくことができる。

アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫(主体的・対話的で深い学びのために)

主体的な学び

- 「前回の振り返り」→「学習内容の確認」→「実践」→「発表と鑑賞」の流れを繰り返す。
- 描きたい絵や色、使う道具等は、できるだけ自分で考えて選択。

対話的な学び

- お互いに意見交換できる場面や他の児童の様子や作品が見やすくなるような場の設定。

深い学び

- 前回の授業で学習した内容を、次の授業で活用できるような題材の構成。
- 自分と他者の作品や制作方法の違いやそれぞれの良さに気づくことができるよう鑑賞の時間を工夫。

経過と結果

○第1期(6月～10月上旬の取組)

<うちわをつくろう>

どうやるのかな...



・友達の様子を見てやり方を理解



この色がいい!

・色を選んで教師と一緒に作った。

<粘土でクッキング>・教師の手本を見て一人で作った



いただきます!

・友だちの作品への興味

<好きな色で塗ろう>・絵の具を混ぜて好きな色で表現



・青で「ハイチュウ」を描いた



「紫を作るよ!」「緑色はどうやって作るの?」

・友達と同じ「消防車」

○研究授業における改善の方向性

- ・目標をシンプルに
- ・鑑賞の場の設定を工夫
- ・同じ形や同じ素材で友達の作品との違いに着目

○第2期(10月中旬～11月の取組)

<○△□で描こう>・形と色を意識して描いた



- ・四角の車体に赤を塗り、丸のタイヤに黒をぬり「消防車」
- ・友達が描いた「消防車」をしっかり見ていた

<ランプシェードをつくろう>・友達の作る様子を見ながら一人でのりをぬることができた



自分で!



自ら発表!

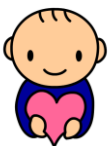
考察

○授業における児童の様子

- ・自分の表現したいことを作品で表現
- ・色や形について友達と自発的にコミュニケーション
- ・作品について発表し、友達や教師から称賛される

○児童の変容

- ・図画工作の授業を楽しみにするようになった。
- ・友達が工作遊びをする様子に興味を持ち、教師と一緒に工作遊びをするようになった。
- ・休み時間に友達と一緒に遊ぶようになった。(興味のひろがり)



自らの力で表現する喜び、満足感をあじわったり、友達や教師へ伝わる喜びを感じたりすることが、満足感や自信につながり、友達との関わりや興味の広がりへとつながったと考える。